

## 資料編



2020年12月

(各区の名称) 区にお住まいの皆様

## アンケートへの協力をお願い

師走の慌ただしい季節となりましたが、皆様にはいよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。

立命館大学 歴史都市防災研究所では、豊岡市役所出石振興局から委託され、豊岡市出石伝統的建造物群保存地区（以下、伝建地区）における防災計画の策定に関わる調査分析を進めております。しかし、災害は行政区などを超えて被害を及ぼすものでもあることから、周辺地域もあわせて災害対策を進めていくことが重要となっております。

そのため、伝建地区ならびに周辺地区の安全に資する防災計画を策定するための基礎調査として、皆様の防災意識や行動などとともに、今後、必要な活動のためのご意見を伺いたいと考えており、本アンケートはその一環となっております。

ご多用中の折、真に恐縮ではございますが、各項目にご回答下さいますようお願い申し上げます。なお、ご記入いただきました用紙は、再び封筒に入れていただき切手は貼らずに郵便ポストに1月5日（火曜日）までに投函下さいますようご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

また、オンライン防災訓練のご案内もページ最後でございますので、ぜひご確認ください。

ご回答いただいたアンケート用紙は、個人情報保護法に基づき厳正に管理します。データはすべて数値に置き換えられ、本アンケートにより個人が特定されることは絶対ございません。

立命館大学 歴史都市防災研究所

(TEL: 075-467-8801)

豊岡市 出石振興局 地域振興課

(TEL: 0796-52-3111)

## 弘道地区（出石伝統的建造物群保存地区・周辺地区）における防災アンケート

I. まずご自身またはご家族に当てはまるもの 1つ に○をつけてください。

**1.性別** ①男性 ②女性 ③答えたくない

**2.現在のお住まいでの居住年数**

①出生時から ②1年未満 ③1年以上5年未満  
④5年以上10年未満 ⑤10年以上20年未満 ⑥20年以上

**3.居住形態**

①一戸建て ②社寺 ③マンション・アパート（何階にお住まいですか→ \_\_\_\_\_ 階）  
④社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など（何階にお住まいですか→ \_\_\_\_\_ 階） ⑤その他（ \_\_\_\_\_ ）

**4.あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。**

①持ち家（家族所有含む） ②賃貸住宅

**5.あなたの土地は、次のどれにあたりますか。**

①自己（家族）所有 ②借地

**6.現在のお住まいについて、今後どのようにお考えですか。**

①引き続き所有する ②売却したい ③賃貸に出したい ④考えたことがない  
⑤そもそも建物を所有していない ⑥わからない ⑦その他（ \_\_\_\_\_ ）

II. 次に、皆様の防災に関するお考えや取り組み状況についてお伺いいたします。

**7.弘道地区で被害に遭うことを想像した災害はありますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。**

①地震 ②河川の氾濫 ③土砂崩れ ④大雪 ⑤火災 ⑥竜巻、突風、台風など風による災害  
⑦水路等からの氾濫 ⑧想像したことがない ⑨わからない ⑩その他（ \_\_\_\_\_ ）

**8.上記の問7で想像した災害について、どのような被害がご自分や同居家族に出ると思いますか。**

**当てはまるもの全てに○をつけてください。**

- ①あなたや、あなたの身近な誰かが亡くなる  
②あなたや、あなたの身近な誰かが入院が必要なほどの病気・怪我をする  
③あなたの仕事・活動・家業・学業などに大きな影響がでる  
④病院・診療所やデイケアなどの医療・福祉サービスが受けられなくなる  
⑤建物や財産に大きな被害がでる ⑥世帯の収入が大きく減る  
⑦ライフライン（電気・ガス・上下水道）が停まる ⑧電話やインターネットが使えなくなる  
⑨鉄道やバスなどの公共交通機関がとまる ⑩道路が損壊や渋滞で通れなくなる  
⑪お店に食料や日用品などがなくなる ⑫宅配便のサービスがとまる  
⑬その他（ \_\_\_\_\_ ） ⑭何も被害はないと思う





16.ここ1～2年ぐらいの間に、居住されている区や弘道地区の方と、災害が起きたらどうするかなどについて、話し合ったことがありますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

- ①心構えについて                      ②避難の方法、タイミング、場所について    ③食料・飲料水について  
④非常持ち出し品について    ⑤家族や親族との連絡手段について                      ⑥家屋の安全性について  
⑦地域の災害危険箇所について                      ⑧避難が困難な方（高齢者）の支援について  
⑨洪水時に被害を小さくするための対策について（土のう積みなど）  
⑩災害時の地域住民の安否確認や逃げ遅れた人の救出・救助方法について  
⑪弘道地区内で過去に起きた災害について  
⑫現在の居住地域（居住区や弘道地区）の災害対策で問題ないかについて  
⑬わからない                      ⑭話し合ったことはない                      ⑮その他（                      ）

III. 続いて、皆様のお住まいについてお伺いたします。

17.お住まい（の一部）は、伝統的建造物（建築物）に指定されていますか。指定されているもの全てに○をつけてください。指定されていない場合は、「なし」を選択してください。

- ①主屋    ②離れ    ③土蔵    ④門    ⑤塀    ⑥車寄せ    ⑦社寺    ⑧近代洋風建築  
⑨その他（                      ）    ⑩わからない                      ⑪なし

18.お住まい（主に寝食を行う建物）の建築年をお答えください。正確には不明である場合、「1930年ごろ」や「明治」などのご回答でも結構です。

（                      ）年

19.お住まい（主に寝食を行う建物）の造りは、以下のいずれにあたりますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ①木造（防火木造は除く）  
②防火木造（屋根や外壁などが、モルタル〔セメント〕、トタンなどの防火材料でできているもの）  
③非木造（コンクリート造、鉄骨造、鉄筋鉄骨コンクリート造、組積造）  
④わからない

20.お住まい（主に寝食を行う建物）の「耐震改修」について、この中からあてはまるものを1つに○をつけてください。また、選択した回答の後にカッコがある場合は、カッコ内の質問にも回答してください。

- ①新耐震基準（1981年6月1日導入）に基づいて建築（築40年）されているので耐震改修は不要\*（→問28へ）  
②すでに耐震改修を実施した（→問21へ）                      ③耐震改修をする予定がある（いつ頃ですか：                      ）（→問21へ）  
④耐震改修の予定はないが、今後、実施する必要があると考えている（→問24へ）  
⑤耐震改修をするつもりはない（→問24へ）                      ⑥わからない（→問26へ）

\*正確には、1981年6月1日以降に建築確認を得た建物が新耐震基準に基づいています。





32.あなたの居住区の自主防災組織や消防団の活動は、過去（このような活動について知り始めた頃）と比較して活発に活動していると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ①とても活発になっている      ②活発になっている      ③変わらない  
 ④少し活発が停滞している      ⑤かなり活動が停滞している      ⑥わからない

33.家族構成について下記の例のようにご記入いただくとともに、世帯主の方の続柄欄に○をつけてください。6人以上の場合は回答欄の余白にご記入ください。なお、繰り返しになりますが、氏名等は書く必要はなく、ご年齢も〇〇歳代とご記入いただきますので、ご回答者が特定されることはありません。また、本調査の集計・分析は立命館大学にて行い、ご回答されたアンケートも厳正に管理いたします。

(例)

| あなたとの続柄（世帯主に○） | 年齢（歳代） | (新型コロナウイルス流行前の)<br>平日昼間の主な滞在場所<br>(当てはまるもの1つに○をしてください) | (新型コロナウイルス流行前の)<br>土日祝の昼間の主な滞在場所<br>(当てはまるもの1つに○をしてください) |
|----------------|--------|--|--|
| 本人             | 30     | 弘道地区内 出石町内 <u>豊岡市内</u> 兵庫県内<br>兵庫県外                    | 弘道地区内 出石町内 豊岡市内 兵庫県内<br>兵庫県外                             |
| <u>父</u>       | 60     | 弘道地区内 出石町内 豊岡市内 兵庫県内<br>兵庫県外                           | <u>弘道地区内</u> 出石町内 豊岡市内 兵庫県内<br>兵庫県外                      |

(あなたのご回答)

| あなたとの続柄（世帯主に○） | 年齢（歳代） | (新型コロナウイルス流行前の)<br>平日昼間の主な滞在場所<br>(当てはまるもの1つに○をしてください) | (新型コロナウイルス流行前の)<br>土日祝の昼間の主な滞在場所<br>(当てはまるもの1つに○をしてください) |
|----------------|--------|--|--|
| 本人             |        | 弘道地区内 出石町内 豊岡市内 兵庫県内<br>兵庫県外                           | 弘道地区内 出石町内 豊岡市内 兵庫県内<br>兵庫県外                             |
|                |        | 弘道地区内 出石町内 豊岡市内 兵庫県内<br>兵庫県外                           | 弘道地区内 出石町内 豊岡市内 兵庫県内<br>兵庫県外                             |
|                |        | 弘道地区内 出石町内 豊岡市内 兵庫県内<br>兵庫県外                           | 弘道地区内 出石町内 豊岡市内 兵庫県内<br>兵庫県外                             |
|                |        | 弘道地区内 出石町内 豊岡市内 兵庫県内<br>兵庫県外                           | 弘道地区内 出石町内 豊岡市内 兵庫県内<br>兵庫県外                             |
|                |        | 弘道地区内 出石町内 豊岡市内 兵庫県内<br>兵庫県外                           | 弘道地区内 出石町内 豊岡市内 兵庫県内<br>兵庫県外                             |

34.あなたや同居されている家族について、災害時にどのようなサポートが必要だと考えているか、ご記入ください。

( )

35.弘道地区や各区では、初午祭、土曜夜店、盆踊り大会、秋まつりけんかだんじり、お城まつりなどの様々なイベントが開催されていますが、あなたはこのような地域イベントに例年どの程度、参加していますか。当日、見学に行くなども含めてください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ①年数回程度以上参加している      ②毎年1回程度参加している      ③数年に1回程度参加している  
④ほとんど参加していない      ⑤参加したことがない

36. 以下の中から、今後も残していくべきであると強く思うもの全てに○をつけてください。

- ①出石城跡      ②有子山城跡      ③諸杉神社      ④本覚寺      ⑤酒蔵(出石酒蔵)      ⑥出石明治館  
⑦入佐山公園      ⑧辰鼓楼      ⑨出石家老屋敷      ⑩出石城西門跡(石垣)      ⑪市立伊藤清永美術館  
⑫川崎尚之助生家跡      ⑬出石史料館      ⑭桂小五郎潜居跡      ⑮出石永楽館  
⑯おりゅう灯籠      ⑰見性寺      ⑱福成寺      ⑲経王寺      ⑳願成寺      ㉑宗鏡寺  
㉒弘道館跡      ㉓石部神社      ㉔加藤弘之生家      ㉕茶臼山古墳      ㉖感応殿      ㉗出石城隅櫓  
㉘有子山稻荷神社      ㉙川下神社      ㉚魚屋天神社      ㉛岩鼻稻荷      ㉜火伏稻荷  
㉝金刀比羅神社      ㉞八坂神社(祇園社)      ㉟水天宮社      ㊱勝林寺      ㊲本高寺  
㊳昌念寺      ㊴如来寺      ㊵真覚寺      ㊶西方寺      ㊷正福寺      ㊸称名寺  
㊹誓願寺      ㊺光明院      ㊻残していくべき建築物はない      ㊼その他( )

37. ご家族の中にスマートフォンまたはタブレット端末を所持されている方はいますか。

- ①いる(所持している台数:      台)      ②いない

38. ご自宅にパソコン・インターネット環境を整備されていますか。

- ①整備してある      ②整備していない

39. 新型コロナウイルス感染拡大の中、従来の一箇所に大勢で集まり行う防災訓練の参加に対して不安はありますか。

- ①かなり不安である      ②少し不安である      ③あまり不安ではない      ④全く不安はない

40. 新型コロナウイルス感染拡大の中、あなたが参加できそうな訓練の全てに○をつけてください。

- ①検温と消毒の徹底・マスクを着用した上での従来と同様の訓練      ②小規模・少人数での訓練  
③各自で取り組めるスマートフォンやパソコンを利用したオンライン上での訓練  
④スマートフォンやパソコンの画面越しに訓練の指示をされるリモート形式の訓練  
⑤その他( )



◆ 主催者

立命館大学防災まちづくり研究室

◆ 調査責任者

立命館大学 教授 大窪健之

◆ 調査担当者

立命館大学 防災まちづくり研究室 学部4年 千葉陵平

【メールアドレス】 [rd0083hs@ed.ritsumei.ac.jp](mailto:rd0083hs@ed.ritsumei.ac.jp)

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1

立命館大学 BKC キャンパス トリシア 3F 防災まちづくり研究室

[TEL/FAX]: [\(077\)561-3360 \(内線 4121\)](tel:0775613360) / [+81-077-561-3360](tel:+810775613360)

◆ オンライン防災訓練開催に当たって

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況下の中、従来の大勢が一箇所に集まって行う形式の防災訓練の開催が困難であります。そのため、スマートフォンやタブレット等を活用したオンラインでの開催など、三密を避けた形式での開催が新たな対策案の一つとして挙げられています。しかし、これらの形態での訓練の開催は前例が少ないため、訓練の手法や評価の仕方が定まっておらず、早期の具体案作成が求められております。

◆ オンライン防災訓練の目的

本訓練では、豊岡市出石伝建地区を対象に、スマートフォンやタブレット等を活用し、自宅またはその周辺において個人・家族単位で参加できるオンライン上での防災訓練を試験的に開催いたします。そして、訓練の結果からオンライン防災訓練の評価点と問題点をそれぞれ抽出し、訓練としての有効性を評価していくことを目的とします。

また、本オンライン防災訓練を通じて、出石伝建地区のハード面とソフト面それぞれの防災上の課題を抽出し、今後の防災活動の改善すべき点や注力すべき点の提案を行う方針であります。

---

ご協力のほどよろしく願いいたします。

# 出石地域「オンライン防災訓練」ご案内



新型コロナウイルス感染拡大状況下の中、従来の大勢が1箇所に集まって防災訓練を実施することが困難な状況にあります。そのため、お手持ちのスマートフォンやタブレット端末等を使って、ご自宅とその周辺において各自で参加いただける「オンライン防災訓練」を実施いたします。本訓練では、訓練内で指示された行動を実際に行い確認して、その行動に対する質問にお答えいただく形式になっております。

スマートフォンやタブレット端末をお持ちの方は右下のQRコードを読み取るとオンライン防災訓練に参加いただけます。パソコンでの参加を希望される方は下記のURLの入力をお願いします。

スマートフォン・タブレット端末・パソコンをお持ちの方は、ぜひ参加をお願いします。

## 【オンライン防災訓練実施要項】

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 実施期間   | アンケート配布日～1月11日(月)                |
| 時間     | 好きな時間に参加できます。                    |
| 場所     | 自宅・自宅周辺・避難所までの道                  |
| 準備するもの | スマートフォン・タブレット端末・パソコン<br>ご自宅周辺の地図 |



## オンライン防災訓練の内容

右上のQRコードを読み取ると、オンライン防災訓練のホームページに移動します。

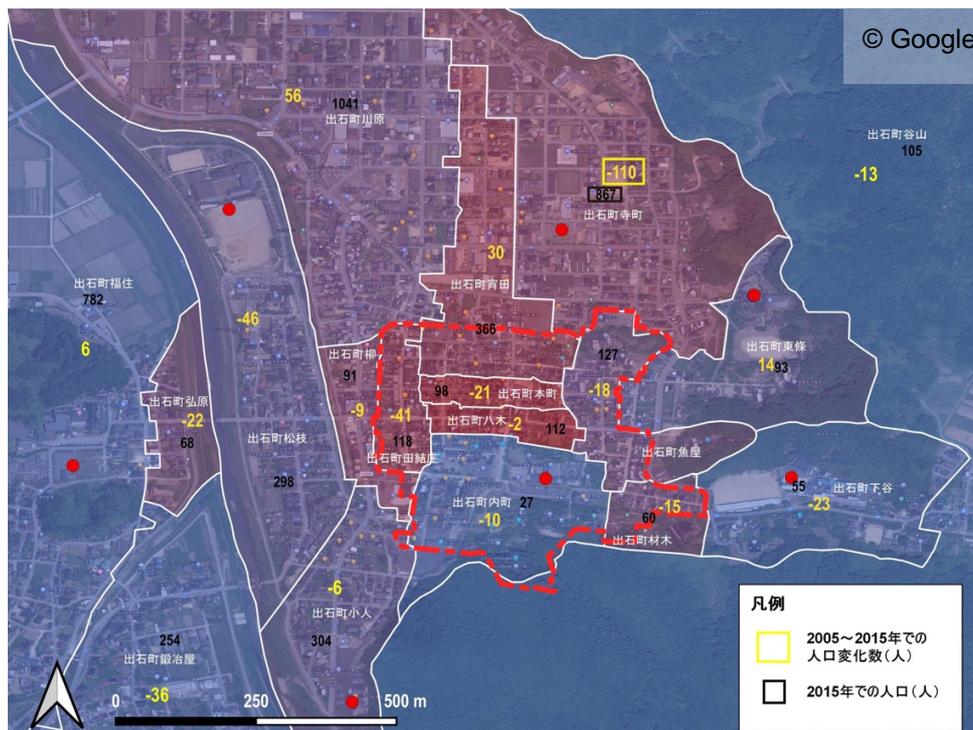
|              |   |
|--------------|---|
| 対象者          | 出石地域にお住いの全住民  |
| 所要時間         | 30～45分  |
| 訓練内容<br>全7項目 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ご自宅の備蓄・対策の確認</li> <li>2. 火災災害・初期消火編</li> <li>3. 地震災害・避難編</li> <li>4. 弘道地区防災マップの確認</li> <li>5. 土砂災害編※</li> <li>6. 水害編※</li> <li>7. 参加者アンケート</li> </ol> |
| URL          | <a href="https://cutt.ly/Dhnk1Fw">https://cutt.ly/Dhnk1Fw</a>   |

※土砂災害編と水害編は、それぞれご自宅が「土砂災害警戒区域」、「浸水の恐れがある区域」に含まれている方に受講していただきます。



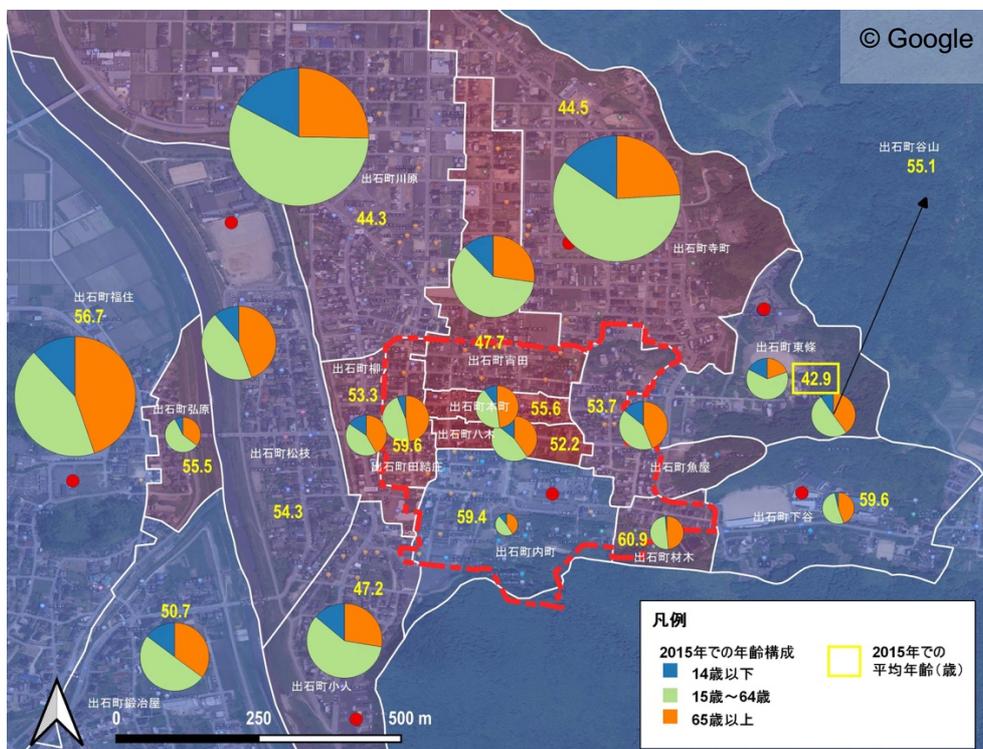
年末年始の「おうち時間」に、ご自宅で行いましょう！

# 人口統計と現在の防災活動からみた社会的脆弱性と今後の課題 (資料編)



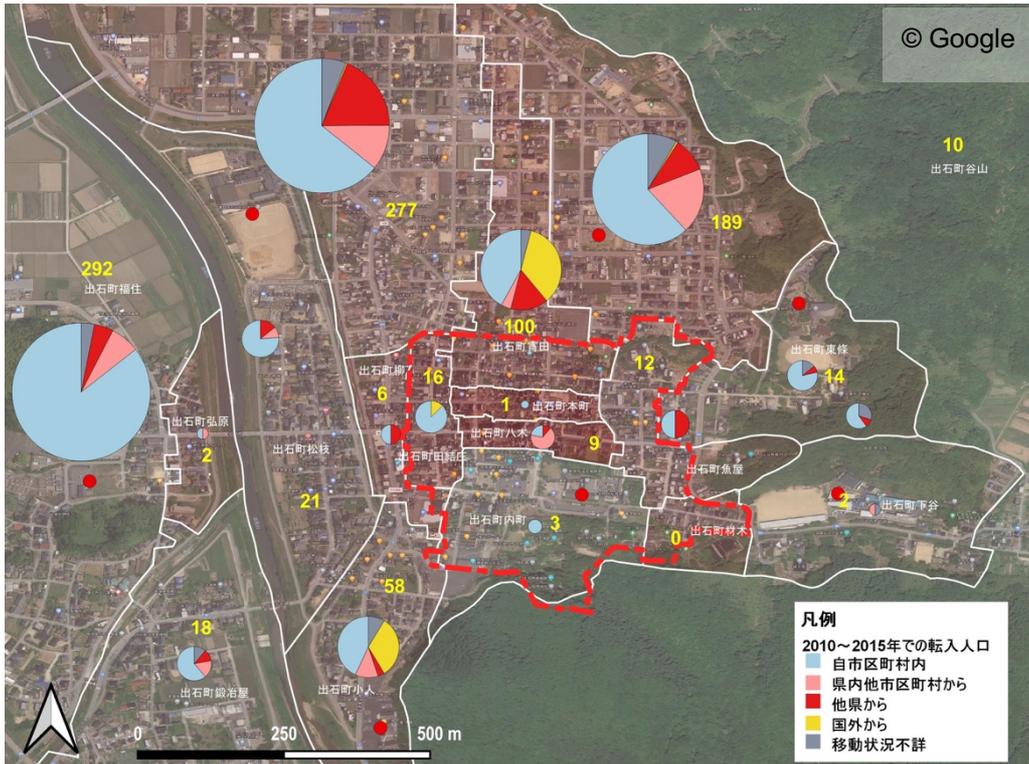
説明：多くの地区で人口減少が進んでいるが、新興住宅地の建設もあり、東條や川原等では増加している。なお、赤線範囲は伝建地区の範囲を示す（以下同様）。

図 2-1 伝建地区ならびに隣接地域の人口変化



説明：特に伝建地区では高齢化が進んでいることがわかる。

図 2-2 伝建地区ならびに隣接地域の年齢構成



説明：伝建地区への転入はほとんどない一方、隣接地域には転入していることがわかる。ただし、どちらも人口は減少している。

図 2-3 伝建地区ならびに隣接地域の転入動向



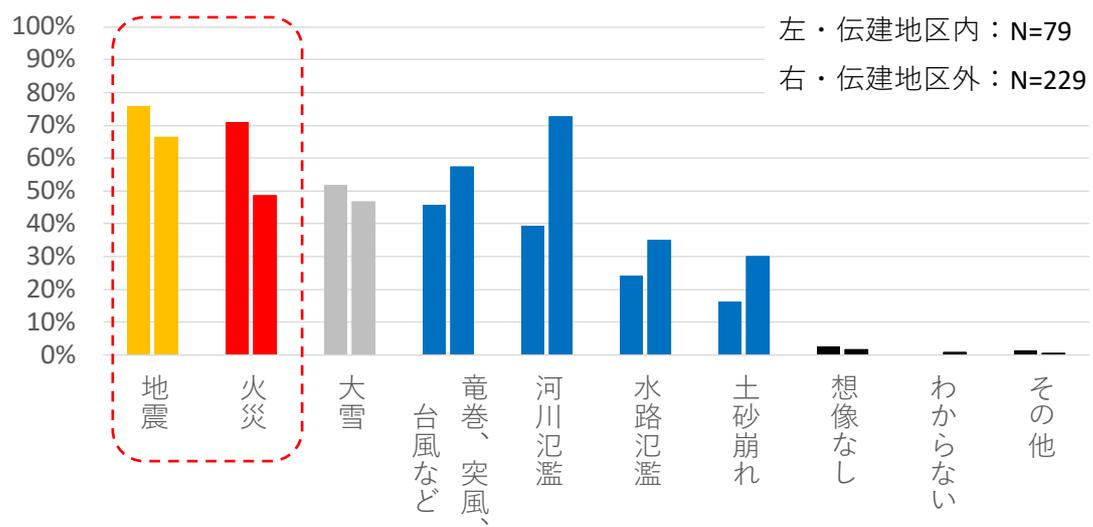
| 範囲   | 配布数  | 回収数 | 回収率   |
|------|------|-----|-------|
| 伝建地区 | 276  | 79  | 28.6% |
| 隣接地域 | 1029 | 229 | 22.3% |

| 配布地区（行政区） |          |
|-----------|----------|
| 材木        | 田結庄      |
| 魚屋        | 東條       |
| 内町        | 寺町       |
| 八木        | 柳        |
| 本町        | 川原       |
| 宵田        | 小人（北部のみ） |

|    |                       |
|----|-----------------------|
| 配布 | ポスティング<br>2020年12月24日 |
| 回収 | 郵送<br>2021年1月12日まで    |

図 2-4 アンケート票配布・回収の詳細

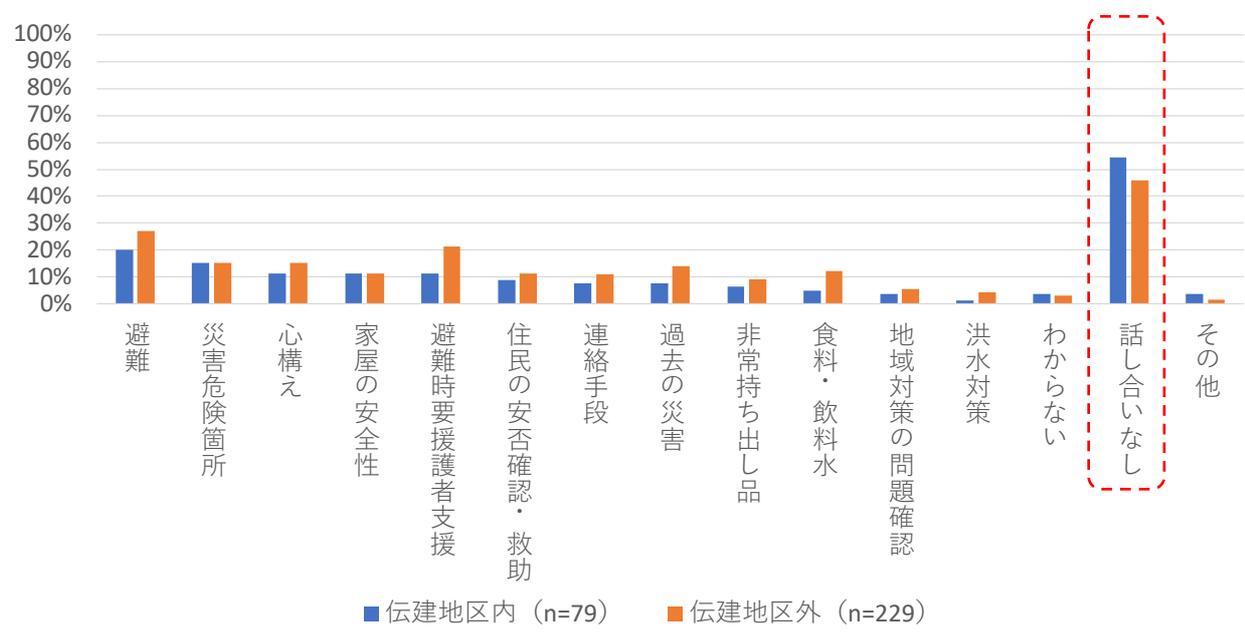
設問：弘道地区で被害に遭うことを想像した災害はありますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。



説明：伝建地区内住民が弘道地区内で遭うことを想像した災害は、地震、火災の順に多い。

図 2-5 弘道地区内で遭うことを想像した災害

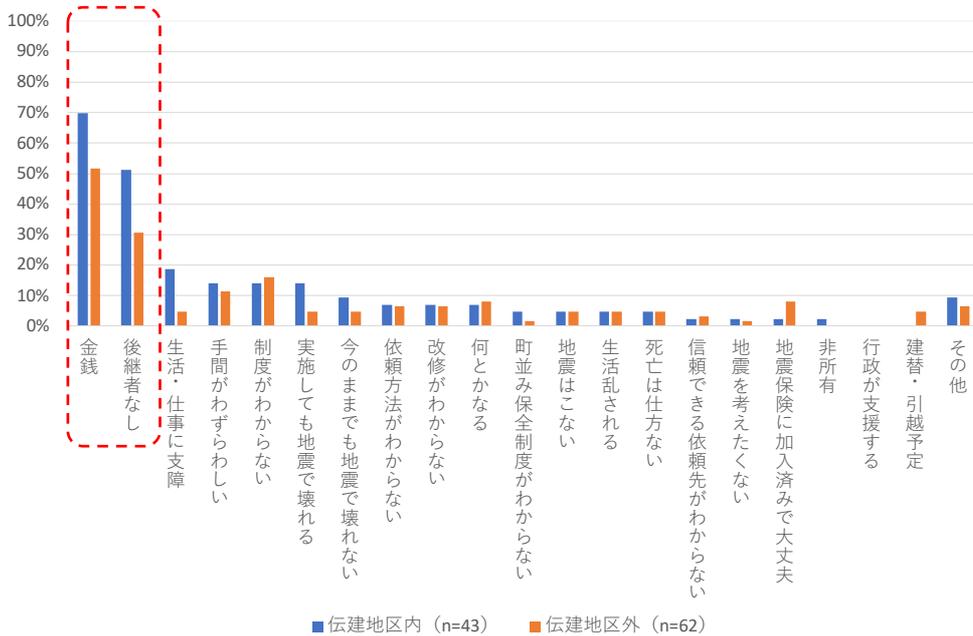
設問：ご自宅では災害が起こった場合に備えて、どのような対策をとっていますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。



説明：近隣住民と災害に関して話したことがない住民は伝建地区内では半数以上にのぼる。それぞれの話し合った項目を選択した回答者も 2 割以下と低い割合に止まっており、住民間の災害に関する相談（共助）はあまり行われていない。

図 2-6 災害対策（過去 1-2 年の共助〔居住地区・弘道地区〕）

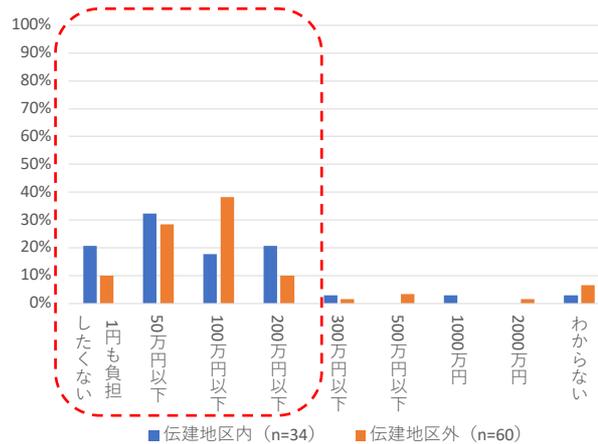
設問：（「耐震改修の予定はないが、今後、実施する必要があると考えている」もしくは「耐震改修をするつもりはない」と回答された方のみ）実施できていない、もしくは、しない理由は何でしょうか。当てはまるもの全てに○をつけてください。



説明：耐震補強をしていない回答者に対するしない（できない）理由は、金銭面の問題や後継者（自分の後に住む人）がいないが圧倒的に多い。

図 2-7 「耐震改修の予定はないが、今後、実施する必要があると考えている」もしくは「耐震改修をするつもりはない」の回答者による、耐震化しない・できない理由

設問：（「耐震改修の予定はないが、今後、実施する必要があると考えている」もしくは「耐震改修をするつもりはない」と回答された方のみ）工事費がどの程度であれば耐震化工事を行いたいと思いますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

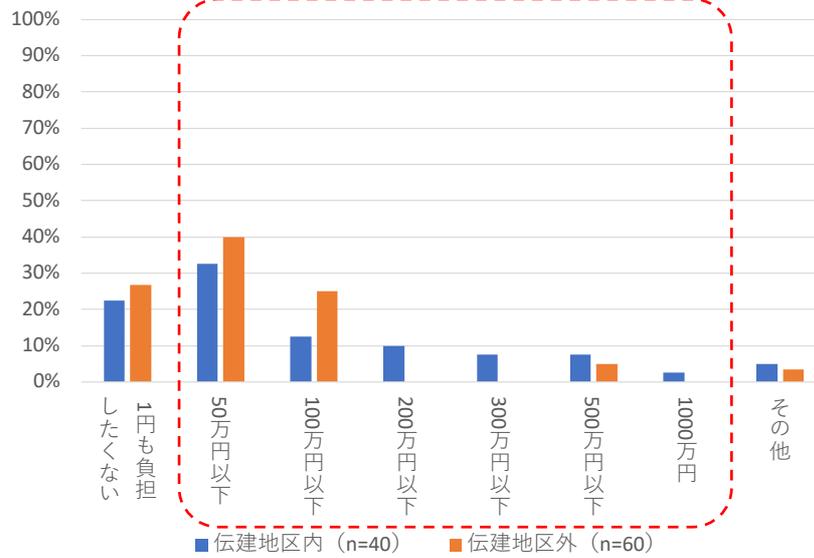


説明：伝建地区内外を問わず 200 万円を超える支出は難しいことがわかる。耐震改修工事の半数以上は約 187 万円以下で行われている（行政からの助成金含めず）<sup>1)</sup>が、費用の幅が広く、また、伝統的建造物は一般的な建造物よりも費用が高額となる。

1) 日本建築防災協会『木造住宅の耐震改修の費用』2010 年

図 2-8 「耐震改修の予定はないが、今後、実施する必要があると考えている」もしくは「耐震改修をするつもりはない」の回答者による、耐震補強したいと思う金額

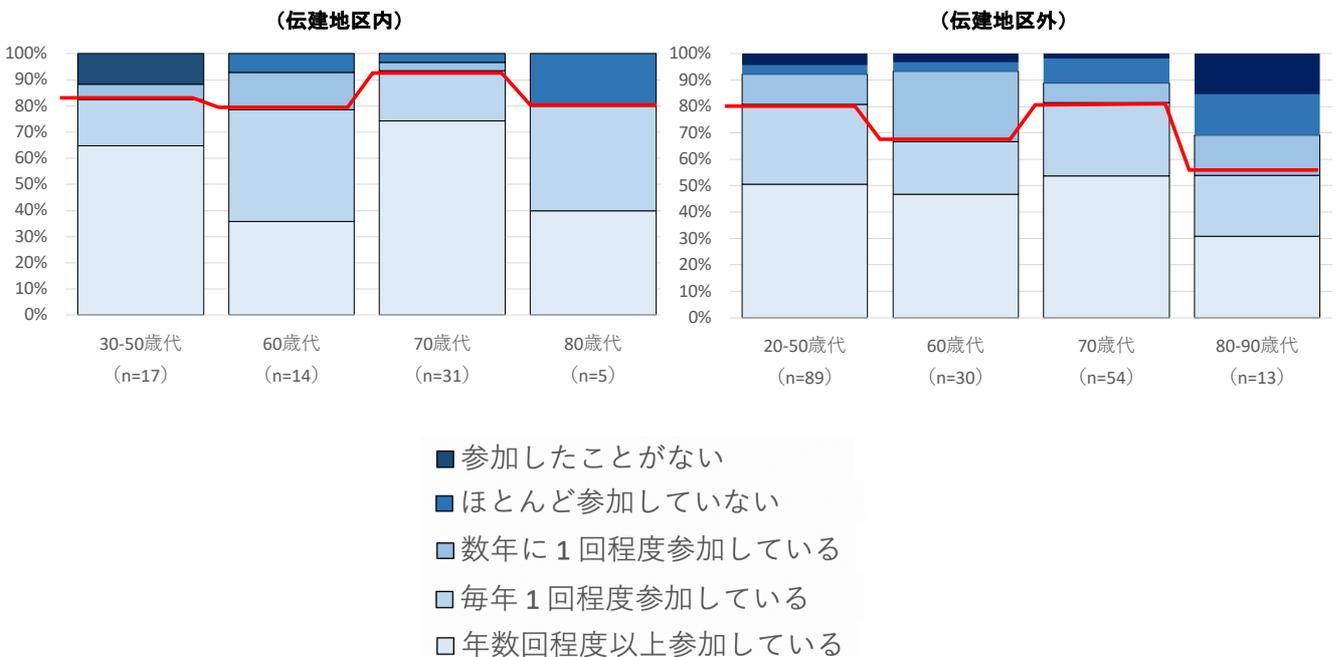
設問：お住まいの修理や建て替える際に、歴史的な町並みに合わせて修理する必要がある場合、どの程度であれば追加で費用を負担しても良いと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。



説明：70%強の回答者が町並み保全のために追加費用を支払っても良いと考えていることがわかる。伝建地区及び周辺地区を保全していくためにも、平時の町並み保全と災害時へ向けた建築物の耐震化を両輪として進めていくことが必要と考えられる。

図 2-9 「耐震改修の予定はないが、今後、実施する必要があると考えている」もしくは「耐震改修をするつもりはない」の回答者による、修理・建替え時における町並み保全のため追加負担の許容額

設問：弘道地区や各区では、初午祭、土曜夜店、盆踊り大会、秋まつりけんかだんじり、お城まつりなどの様々なイベントが開催されていますが、あなたはこのような地域イベントに例年どの程度、参加していますか。当日、見学に行くなども含めてください。当てはまるもの1つに○をつけてください。



注：便宜上、年1回以上・未満の参加の境を赤線で区切っている。

説明：地域へのイベントへの比較的若い住民の参加も多く、地区を超えた住民交流や活動が盛んであることがわかる。

図 2-10 年齢（年代）別地域イベント参加頻度

設問：あなたや同居している家族の方は、行政や区などで開催される防災・避難訓練にどの程度参加していますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

説明：半数以上の家庭が地域防災・避難訓練にほぼ毎年参加しているなど、公式な防災活動については、地区を超えた防災協力が進んでいると言える。

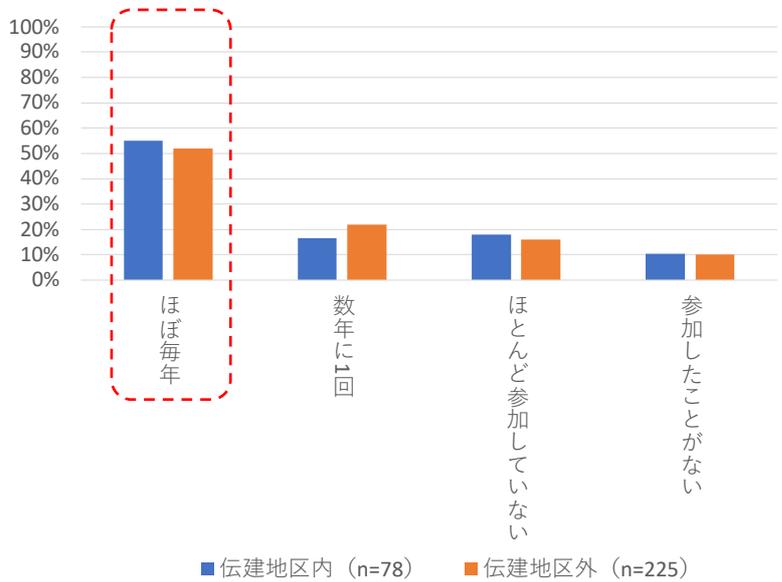
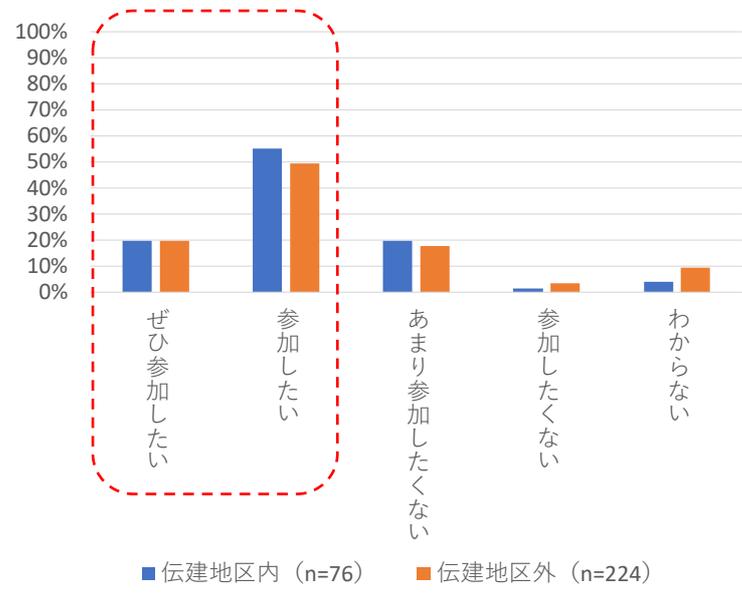


図 2-11 回答者および同居家族の地域防災・避難訓練参加頻度

設問：今後は（今後も）、弘道地区で開催される行政や区などが開催する防災訓練には参加したいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。



説明：7割程度の回答者が「ぜひ参加したい」もしくは「参加したい」を選択しており、公式な防災活動については、地区を超えた防災協力を進める基盤は整っていると言える。

図 2-12 回答者の地域防災訓練参加意欲